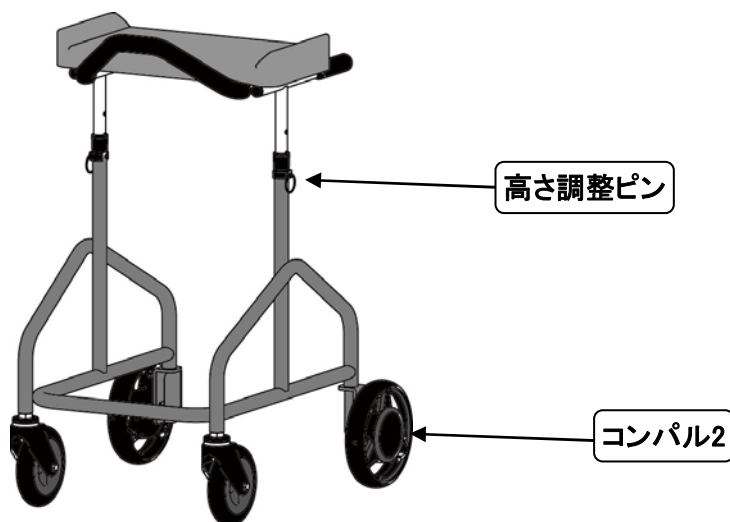


アルコール スリムα 取扱説明書



高さ調整方法

①ピンを抜いてください。

②使用に適したマット高さでピンを差し込み固定して下さい。

※使用前には高さ調整ピンが奥まで差し込まれている事を確認して下さい。

コンパル2 使用方法・使用上の注意

別紙「CONPAL2取扱説明書 アルコースリム装着時用」を確認して下さい。

▲使用上の注意 必ずお守り下さい

- 使用前は必ず医療機関、福祉用具専門員、介護支援専門員等に相談の上ご使用下さい。
- 本製品は歩行車ですので他の用途には使用しないで下さい。
- ご自分で商品を分解・修理・改造などを行わないで下さい。
- 使用前にキャスターやネジ類・部品等が固定されている事を確認の上ご使用下さい。
- 肘置マットは高さ調整ピンで確実に固定された状態でお使い下さい。
- 転落・転倒の恐れがある場所では使用を避けるか、必ず介護の方が付き添い注意して下さい。
- 認知症の方が使用される際は、必ず介護の方が付き添い注意して下さい。思わぬ行動でけがや事故をされる恐れがあります。
- 次のような時は使用しないで下さい。転倒し、けがの原因になります。
 - 飲酒後 ■ 薬物等による酩酊状態 ■ 睡眠薬服用後
 - 麻酔が効いた状態 ■ その他の感覚や判断力が正常でない時
- キャスター(車輪)の車軸や旋回部に異物(髪の毛・糸くず・ひも等)が絡まないように注意して下さい。
- 高さを調整する際は必ず平坦な場所で行って下さい。
- 急加速や急停止、急激な回転などは転倒の恐れがありますのでしないで下さい。
- 本製品のお手入れは水に濡らした布か、柔らかい布で乾拭きして下さい。ひどい汚れの場合は中性洗剤をぬるま湯で2~3%に薄め布に浸し、軽く絞ってから拭いて下さい。その後、水で浸した布を軽く絞り中性洗剤をよく拭き取り、さらに乾いた布で乾拭きして下さい。
- 破損や異常を発見した場合は直ちに使用を中止して下さい。そのまま使用すると重大な事故につながる恐れがあります。

■製品仕様■

寸法: W538 × D644 × H780~1020mm

車輪: 前輪φ150自在

後輪φ200抑速ブレーキ付(CONPAL2)

材質: スチール(本体)

人工合皮/ウレタン(肘置きマット)

最大使用者体重: 80kg 重量: 10.5kg

株式会社 星光医療器製作所

本社・工場 〒578-0901 東大阪市加納5丁目11-6

TEL(072)870-1912 FAX(072)870-1915

物流センター 〒578-0921 東大阪市水走3丁目6-12

TEL(072)961-9081 FAX(072)961-9082

<https://www.seiko-aruko.jp> E-mail: office@aruko.co.jp

抑速ブレーキユニット

CONPAL 2 

取扱説明書

アルコースリムα装着時用

NCB-8E-SH



【ユーザー、販売業者向け】

1 ユーザー、販売業者向け内容.....	3
1-1 注意事項.....	3
1-2 ご使用前.....	3
1-3 ご使用場所(場面)の注意.....	4
1-4 ご使用時.....	4
1-5 修理、点検時.....	5
1-6 保管時.....	5
2 機器の特徴と各部の名称.....	6
2-1 機器の特徴.....	6
2-2 各部の名称.....	6
3 日常の点検とお手入れ.....	7
3-1 日常点検.....	7
3-2 タイヤゴムの交換時期確認方法.....	8
3-3 お手入れ.....	9
4 おかしいなと思ったら.....	10
4-1 ご使用時になにかおかしいなと思ったら.....	10
5 諸元.....	11
5-1 製品仕様.....	11
【販売業者向け】	
6 販売業者向け内容.....	12
6-1 取り扱い時.....	12
6-2 定期点検.....	13
6-3 歩行車との取り付け方法.....	13
6-4 抑速ブレーキ力調整方法.....	15
6-5 タイヤゴムの交換方法.....	17

本書は、CONPAL2(以下 CONPAL ユニット)についてご説明しております。

歩行車本体に関する警告・注意などは記載しておりませんので、ユーザーへお渡しの際は、取り付けを行う歩行車本体の取扱説明書を別途ご準備ください。

前半(3~11 ページ)はユーザー向け、後半(12~20 ページ)は販売業者向けで構成しております。

ユーザー向けの前半では、ユーザーに伝えていただきたいことを記載しております。

歩行車本体の取扱説明書にこの内容を記載していただき、必ずユーザーに伝わるようにお願いします。

なお、本書では説明上わかりやすいように、一部形状や色を変更しております。

※「**CONPAL**」は、ナブテスコ株式会社の登録商標です。



【ユーザー、販売業者向け】

1 ユーザー、販売業者向け内容

1-1 注意事項

安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みにになり、取扱い上の警告・注意や製品の特徴などをよくご理解いただいたうえで正しくご使用ください。

正しい取扱いに関する必要事項を、シンボルで表示しています。

 警告	取扱いを誤った場合、 死亡 または、 重傷 にいたる可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、 傷害 にいたる可能性または、 物的損害 の発生が想定される場合を示しています。

1-2 ご使用前

警告

以下のことをしてください。

- ・ CONPAL ユニットを安全に使用するために、使用前に日常点検(P7)を実施し、1年ごとに定期点検を受けてください。
点検で異常が見つかった場合は、ただちに使用をやめて販売店にご連絡ください。
異常のある状態で使用し続けると、使用中に壊れ転倒するおそれがあります

以下のことをしないでください

- ・ CONPAL ユニットを取り外し、他の歩行車や機器に取り付けしないでください。
予期せぬ事故のおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットを落とさないでください。
部品が壊れて転倒するおそれがあります。
- ・ CONPALユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かずに転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。
- ・ CONPAL ユニットに油やグリースを使用しないでください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

注意

以下のことをしてください。

- ・ ご使用の際には必ず使用者の体調を確認し、安全に使用できるよう十分注意してください。
- ・ 歩行車運搬時に CONPAL ユニットを持たないでください。
CONPAL ユニットとフレームで手を挟み、怪我のおそれがあります。

1-3 ご使用場所(場面)の注意



警告

以下のことをしないでください

- ・ 滑りやすい環境では使用しないでください。
タイヤがスリップして抑速ブレーキが効かず、転倒のおそれがあります。
- ・ キャスターに水がかかる環境では使用しないでください。
完全な防水構造ではないため、内部に大量の水が入り、抑速ブレーキが効かず、転倒のおそれがあります。



注意

以下の場所では、十分に注意して使用してください。

.

1-4 ご使用时



警告

以下のことをしてください。

。

- ・ センターキャップは必ず取り付けた状態で使用してください。
ゴミや水の内部への侵入により抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。
外れている場合は、販売店にご連絡ください。

以下のことはしないでください。

- ・ 抑速ブレーキ力の調整はしないでください。
抑速ブレーキ力の調整を誤ると、転倒するおそれがあります。ブレーキ力の調整が必要な場合は、販売店にご連絡ください。
- ・ ユニット耐荷重を超えるような使用はしないでください。
部品への過負荷により使用中に破損し転倒するおそれがあります。

1-5 修理、点検時

警告

以下のことはしないでください。

- ・ CONPALユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かずに転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。
- ・ センターキャップは外さないでください。
ゴミや水の内部への侵入により抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。
- ・ グリースや油は絶対に入れないでください。
十分なブレーキ力が得られず転倒するおそれがあります。

1-6 保管時

警告

以下のことをしないでください。

- ・ 水がかかる場所や、雨風にさらされる場所での保管はしないでください。
錆による動作不良のため、転倒するおそれがあります。
- ・ 車のトランクやダッシュボードなど、高温になる場所には保管しないでください。
樹脂やタイヤの変形による動作不良のため、転倒するおそれがあります。

以下のことをしてください。

- ・ やむなく水がはいった場合は、以下のことをして抑速ブレーキ力が回復することを確認してから使用してください。
 1. 前後に5、6回スピードをつけて動かす。
 2. 自動で抑速ブレーキがかかることを確認する。

注意

以下のことをしないでください。

- ・ 歩行車運搬時に CONPAL ユニットを持たないでください。
CONPAL ユニットとフレームで手を挟み、怪我のおそれがあります。

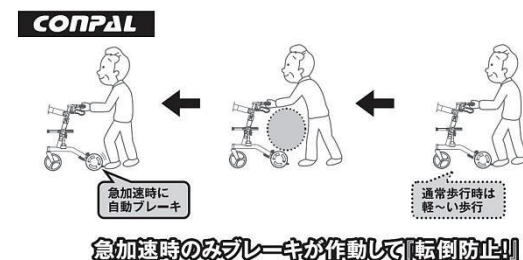
2 機器の特徴と各部の名称

2-1 機器の特徴

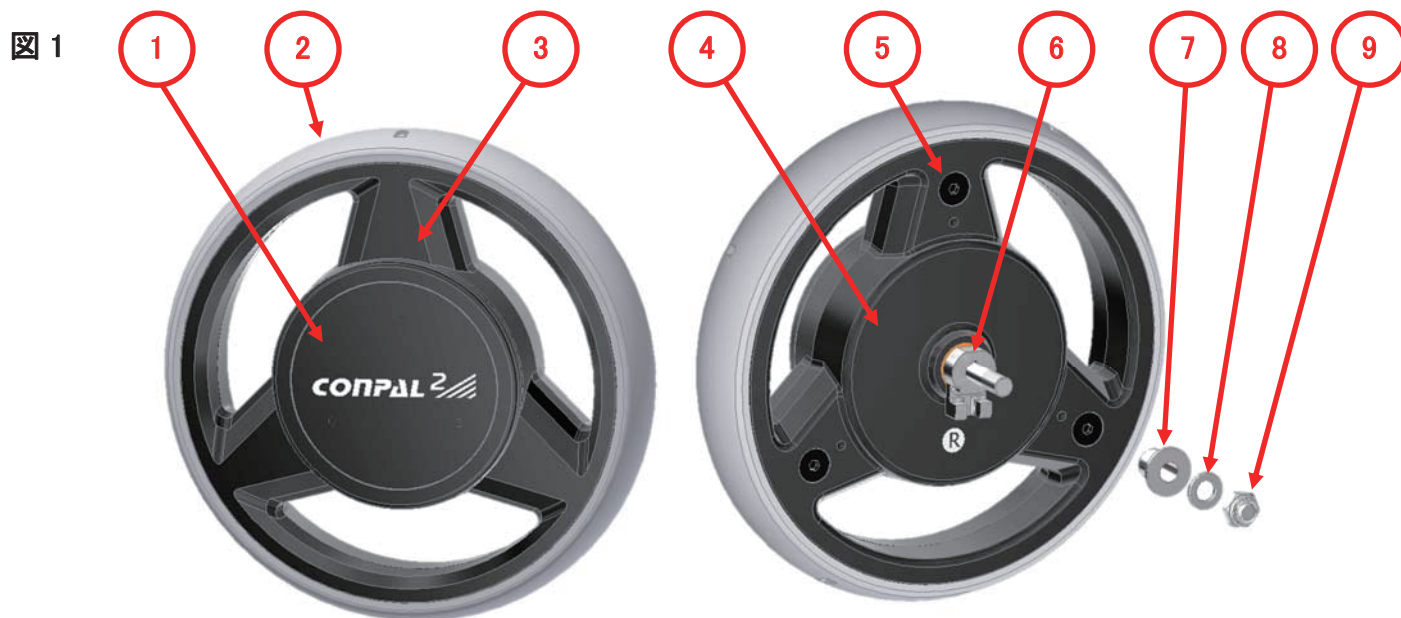
CONPAL ユニット(抑速ブレーキユニット)は、歩行車に取り付けることにより、急加速時に自動でブレーキが作動して、歩行車での転倒リスクを低減します。

また、従来の抵抗器とは異なり、急加速時のみブレーキが作動しますので、通常の歩行ではブレーキがかからずスムーズに歩行ができます。

CONPAL ユニット(抑速ブレーキユニット)は、加速を抑えることができるブレーキであり、歩行車を完全に止めることはできませんので、歩行車から完全に歩行者が離れてしまったときなどは転倒するおそれがありますので、ご注意ください。



2-2 各部の名称



外側図

内側図

No.	名 称	備 考
1	センターキャップ	
2	タイヤゴム(黒)	
3	ホイール(外側)	
4	ホイール(内側)	
5	ホイール取付ボルト	3本使用(M6×25) ※ニッセイテクニカ社 NEO 加工
6	アダプタ	
7	ブッシュ	
8	ワッシャ	
9	本体取り付けナット	(袋 U ナット M8)

3 日常の点検とお手入れ

3-1 日常点検

警告

以下のことをしてください。

- ・ CONPAL ユニートを安全に使用するために、使用前に日常点検を実施し、1年ごとに定期点検を受けてください。
点検で異常が見つかった場合は、ただちに使用をやめて販売店にご連絡ください。
異常のある状態で使用し続けると、使用中に壊れ転倒するおそれがあります
- ・ 利用環境や歩行能力に変化があった場合は、販売店にご連絡ください。
抑速ブレーキ力が弱すぎると、止まれずに転倒のおそれがあります。
また、強すぎると、使用中の過負荷によって部品が破損し、転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ CONPALユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。

以下の日常点検を行うことで、商品をより安全にお使いいただくことができます。

問題がある場合は販売店にご連絡ください。

No.	点検内容	点検箇所・項目	確認方法	チェック欄
1	タイヤゴムやホイールにひび割れや変形はないか？	タイヤゴム	目視・触指により確認	
		ホイール(外側・内側)		
2	タイヤゴムが磨耗し、スリップサインが消えていないか。	タイヤゴム	目視により確認(P8 参照)	
3	抑速ブレーキ力が足りない/強すぎるなどはないか？	CONPALユニット	運転確認	
4	使用時にこすれ音や異音はないか？	CONPALユニット	運転確認	
5	コンパルユニットにガタつきがないか。	CONPAL ユニット	目視・触指により確認	
6	センターキャップが取り付けられているか。外れやすくなっていないか。	センターキャップ	目視・触指により確認	

3-2 タイヤゴムの交換時期確認方法

タイヤゴムが摩耗して、交換時期になっていないか確認します。

右図のようにタイヤゴム表面には溝があります。(4箇所)

この溝が、左右のどこか1つでも見えなくなっている場合は

タイヤゴムの交換時期です。

使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

図 2



⚠ 警告

以下のことをしてください。

- ・ 左右のタイヤゴムは同じタイミングで交換する必要があります。

左右均等に効かず、転倒のおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ タイヤゴムの溝が 2~3 か月以内の早期になくなる場合は、COMPAL ユニートを引きずった状態で使用している可能性がありますので、以下の(1)~(3)をご確認の上、ご対応ください。使用中の過負荷により部品が破損し、転倒するおそれがあります。

タイヤゴムが早期摩耗している場合の対応

(1) 抑速ブレーキ力の調整

ブレーキ力が強すぎる可能性がありますので、安全に支障のない範囲でブレーキ力を弱めに再調整する必要があります。

抑速ブレーキを調整する場合は、**お買い上げの販売店にご連絡ください。**

(2) 速度を抑えた走行

歩行速度が速い程、タイヤのスリップが生じやすくなります。

。

※時速 3.2km は、おおよそ 90cm を 1 秒程度で歩行する速度になります。

(3) 定期点検

異常を感じた場合は、速やかに使用を中止し**速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。**

また、異常がない場合でも 1 年毎の定期点検をしてください。

3-3 お手入れ

警告

以下のことをしてください。

- ・ やむなく CONPAL ユニット内部に水が入った場合は以下のことを行ってください。
 1. 前後に 5、6 回スピードをつけて動かす。
 2. 自動で抑速ブレーキがかかることを確認する。
- ・ 乾燥させる場合は 60℃以下で行ってください。
60℃を超えると樹脂部品が変形し転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ 水、油、石鹼水、クリーナーなどを使用しないでください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

日常のお手入れ

- ・ 乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
- ・ 汚れがひどい場合は水を含ませ強くしぼった布で拭いてください。

4 おかしいなと思ったら

4-1 ご使用時になにかおかしいなと思ったら

警告

以下のことをしてください。

- ・ 異常が見つかった場合は、ただちに使用をやめて販売店にご連絡ください。
異常のある状態で使用し続けると、使用中に壊れ転倒するおそれがあります。
- ・ CONPALユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。

以下のことをしないでください。

- ・ CONPAL ユニットに水、油、石鹼水、クリーナーを使用しないでください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

各状況に応じて、以下の内容に沿って調べてください。それでも直らない場合は、販売店にご連絡をお願いします。

状況	調べること	処置
抑速ブレーキの利きが悪い または利き方に左右差がある	-	すぐに使用をやめ、販売店にご連絡ください。
異音がる ※	車輪の軸に何か挟まっていますか？	挟まっているものを取り除いてください。 解消しない場合には、販売店にご連絡ください。
CONPAL ユニットが大きく振れる	ボルト・ナットが緩んでいませんか？	すぐに使用をやめ、販売店にご連絡ください。

※ 抑速ブレーキ作動音…CONPAL ユニットの抑速ブレーキ機構は摩擦式の為、こすれるような音が多少発生します。
また、その音は気温や温度などの環境によって変化します。

5 諸元

5-1 製品仕様

寸法	車輪外径φ204mm 車輪幅 35mm
重量(一輪)	1.1 kg (調整用六角レンチを含まない)
ユニット耐荷重(荷物含む)※	100 kg (4輪の歩行車につけた場合)
抑速ブレーキ力	1m 降下する時間が 2.5 秒以上 (歩行車:重量約 6.5kg の 4 輪歩行車、抑速ブレーキ力:強、坂道角度:8°)
速度調整	4 段階 歩行速度の上限設定 強:1.2km/h /中:1.8km/h /弱:2.6km/h /微弱:3.2km/h
保管温度	-25~70 °C

※ 最大使用者体重については、別途最終製品で耐荷重を評価の上設定をお願いいたします。

記載内容や仕様などは、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

【販売業者向け】

本書の前半部に、ユーザー、販売業者向け合わせた内容を記載しております。
本ページ以降の記載内容に加えて、必ずご確認ください。

6 販売業者向け内容

6-1 取り扱い時

警告

以下のことをしてください。

- ・ コンパルユニット取付け後は、必ず動作確認をしてください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
- ・ ボルト、ナットは規定トルクで締め付けてください。
使用中に部品が脱落し、転倒するおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットのアダプタの回り止めが所定の位置にはまっているか確認してください。
車輪が外れ転倒するおそれがあります。
- ・ 抑速ブレーキ力は使用者の歩行能力や利用環境に合わせて調整してください。
抑速ブレーキ力が弱すぎると、止まれずに転倒のおそれがあります。また、強すぎると、使用中の過負荷によって部品が破損し、転倒するおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットの左右を確認して取り付けてください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ 部品を交換する際は、指定の部品以外は使用しないでください。
予期せぬ事故のおそれがあります。

注意

以下のことをしないでください。

- ・ 調整窓に指を入れないでください。
指を挟んでケガをするおそれがあります。
- ・ 抑速ブレーキの調整範囲を超えてレンチを回さないでください。
CONPAL ユニットの破損するおそれがあります。
- ・ 調整後に六角レンチを付けたまま使用しないでください。
CONPAL ユニットの破損するおそれがあります。

6-2 定期点検

日常点検とお手入れ (P7) を確認して、ユーザーへの点検の依頼と合わせて販売業者でも定期的に点検を実施してください。

6-3 歩行車との取り付け方法

警告

以下のことをしてください。

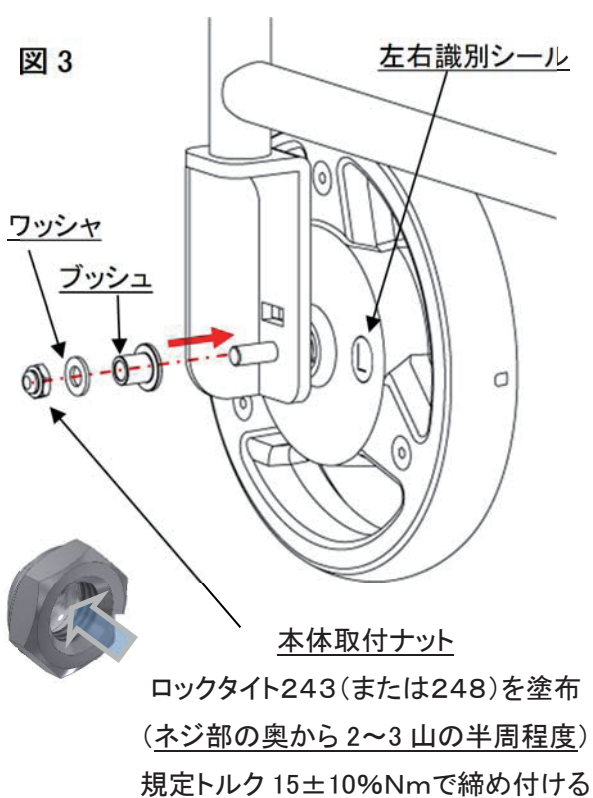
- ・ 本体取付ナットは緩み防止剤を塗布したうえで指定の締付トルクで締めこんでください。
CONPAL ユニットが外れて、転倒するおそれがあります。
- ・ アダプタの回り止めが所定の位置にはまっているか確認してください。
CONPAL ユニットが外れ転倒するおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットは左右を確認して取り付けてください。
抑速ブレーキ力がかからず、転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ CONPAL ユニットを取り外し、他の歩行車や機器に取り付けしないでください。
予期せぬ事故のおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットを落とさないでください。
部品が破損し転倒するおそれがあります。

6-3 歩行車との取り付け方法

- ① ホイール内側の左右識別シールで、取り付け方向を確認します。(図 3)
(センターキャップ内の識別番号からも取り付け方向は確認できます。(図 4))
- ② フレームの内側からブッシュを差し込みます。(図 3)
- ③ CONPAL ユニットの歩行車外側からフレームの掘り込みにアダプタがしっかりはまるように取り付けます。(図 5)
- ④ CONPAL フレーム内側から車軸にワッシャと新品の本体取り付けナット(ロックタイト243(または248)を塗布したものを)、取り付け規定トルク(15±10%Nm)で締め込みます。
- ⑤ はみ出したロックタイトをふき取ります。



文字表記と取り付け方向

Rの場合:

歩行車後方から見て、“右”に取り付けてください。

Lの場合:

歩行車後方から見て、“左”に取り付けてください。

取り付け例 図3の場合

歩行車後方から見て、“右”に取り付けてください。

⚠ 注意

以下のことをしてください。

- ・ 車軸のネジ部は取付前に脱脂洗浄をしてください。なお、保管条件によっては多少の錆が発生する場合がありますが安全上の問題はありません。サンドペーパー(#1000程度)で軽く擦ると取ることが出来ます。

図 5

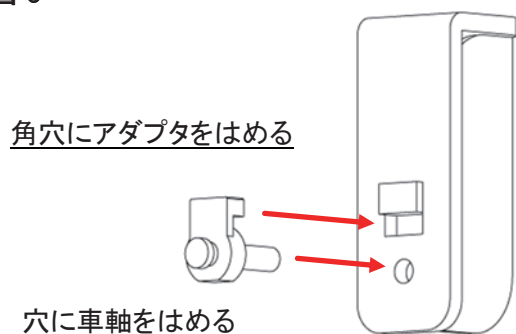


図 4



⚠ 警告

以下のことをしてください。

- ・ ロックタイトは本体取付ナットのネジ部の奥から2~3山まで塗ってください。
緩み止め効果が得られず、転倒するおそれがあります。
- ・ 必ず新品の本体取付ナットを使用してください
本体取付ナットを再利用すると、使用中にゆるみ転倒するおそれがあります。

6-4 抑速ブレーキ力調整方法

⚠ 警告

以下のことをしてください。

- ・ 抑速ブレーキ力は必ず販売店や療法士の方が、使用者の歩行能力や利用環境に合わせて調整してください。抑速ブレーキ力と使用者の運動レベルの不一致により、予期せぬ転倒につながる恐れがあります。
- ・ 調整後、センターキャップは必ず取り付けられた状態で使用してください。ゴミや水の内部への侵入により抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。
- ・ 抑速ブレーキ力は、左右同一に調整してください。抑速ブレーキ作動時に直進せず、転倒するおそれがあります。

⚠ 注意

以下のことをしてください。

- ・ センターキャップはコインやマイナスドライバーを使用して外してください。爪で外そうとすると、怪我をする恐れがあります。

以下のことをしないでください。

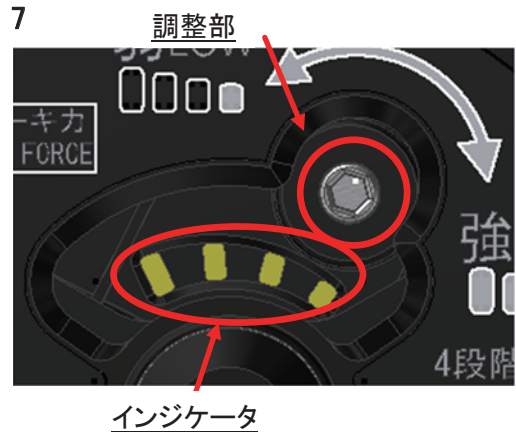
- ・ 調整窓に指を入れしないでください。指をはさんで、怪我をする恐れがあります。
- ・ 抑速ブレーキ力の調整範囲(4段階)を超えて、レンチを回さないでください。CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。
- ・ 調整後に六角レンチを付けたまま使用しないでください。CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。

- ① 歩行車に取り付けた状態のまま、CONPAL ユニットのセンターキャップを取り外します。(図 6)
- ② CONPAL ユニットの回転させ、調整窓と調整部の位置を合わせます。(図 6)
- ③ 調整部の六角穴に、付属の六角レンチを差込みます。
- ④ 六角レンチを調整部に入れて、インジケータの調整レベルを変更することで、抑速ブレーキ力の調整を行います。(図 7)抑速ブレーキ力 微弱、弱、中、強 それぞれの調整位置は図 8～図 11 を参照してください。
- ⑤ 調整が完了したら、六角レンチを取り外し、センターキャップを取り付けます。
- ⑥ 左右の CONPAL ユニットともに、同じ強さの抑速ブレーキが作動することを確認します。

図 6



図 7

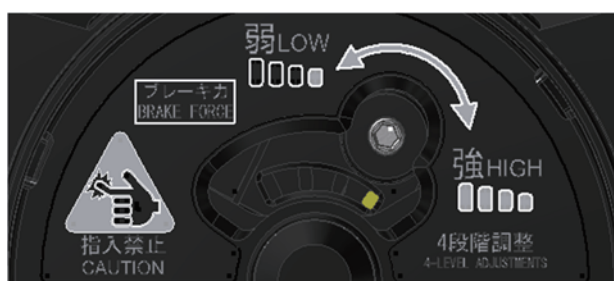


! 注意

以下のことをしないでください。

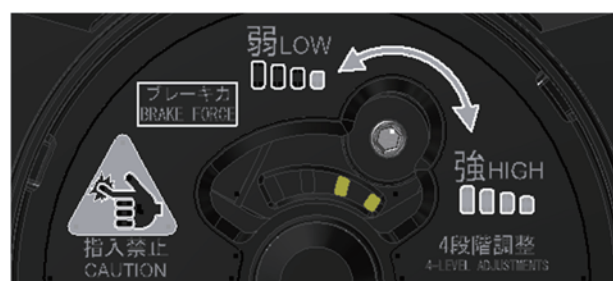
- ・ 市販の六角レンチは使用しないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。付属の六角レンチは長い方だけ差し込めるように、意図的に深く曲がっています。
- ・ 抑速ブレーキの調整範囲を超えてレンチを回さないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。

図 8



抑速ブレーキ力:微弱
(歩行速度: ~3.2km/h)

図 9



抑速ブレーキ力:弱
(歩行速度: ~2.6km/h)

図 10



抑速ブレーキ力:中
(歩行速度: ~1.8km/h)

図 11



抑速ブレーキ力:強
(歩行速度: ~1.2km/h)

! 警告

以下のことをしてください。

- ・ 抑速ブレーキ力は通常歩行速度より早い速度で歩いた時に働くように調整してください。
使用中の過負荷によって部品が破損し、転倒するおそれがあります。
タイヤが早期に摩耗する際は抑速ブレーキ力が強すぎる場合があります。(P8)

6-5 タイヤゴムの交換方法

警告

以下のことをしてください。

- ・ タイヤゴム交換後は、必ず動作確認をしてください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
- ・ 左右のタイヤゴムは同じタイミングで交換する必要があります。
ハンドブレーキが左右均等に効かず、転倒のおそれがあります。
- ・ タイヤゴムの交換作業は、必ず CONPAL ユニットをフレームに取り付けた状態で行ってください。
作業中の部品の脱落により、正しく動かず転倒するおそれがあります。

注意

以下のことをしてください。

- ・ ホイール取付ボルトは規定トルクで締めこんでください。
部品が脱落して、CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ 調整窓に指を入れないでください。
指を挟んでケガをするおそれがあります。

タイヤゴム交換方法①

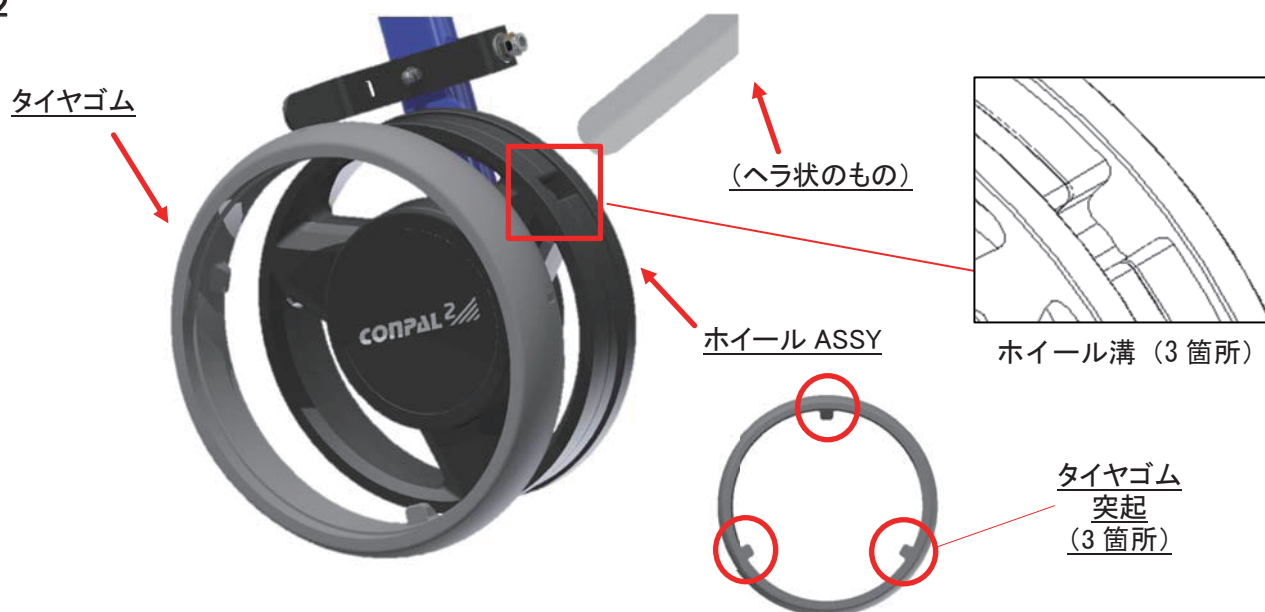
⚠ 注意

以下のことをしてください。

- ・ タイヤゴムの交換は、CONPAL ユニットとブレーキパッドと車体などと指を挟まないよう十分注意して行ってください。
- ・ タイヤゴムを取り外す際に道具を使用する場合は、道具の使用によるけがや道具の破損またはそれによるけがに十分注意して行ってください。

- ① CONPAL ユニットを歩行車に装着した状態で、ホイール ASSY からタイヤゴムを外します。(図 12)
タイヤゴム取り外す際は、へら状のものを使用していただけと簡単です。
- ② 新品タイヤゴム突起を、ホイール溝に合わせて取り付けます。
- ③ 左右の CONPAL ユニットともに、抑速ブレーキが作動することを確認します。

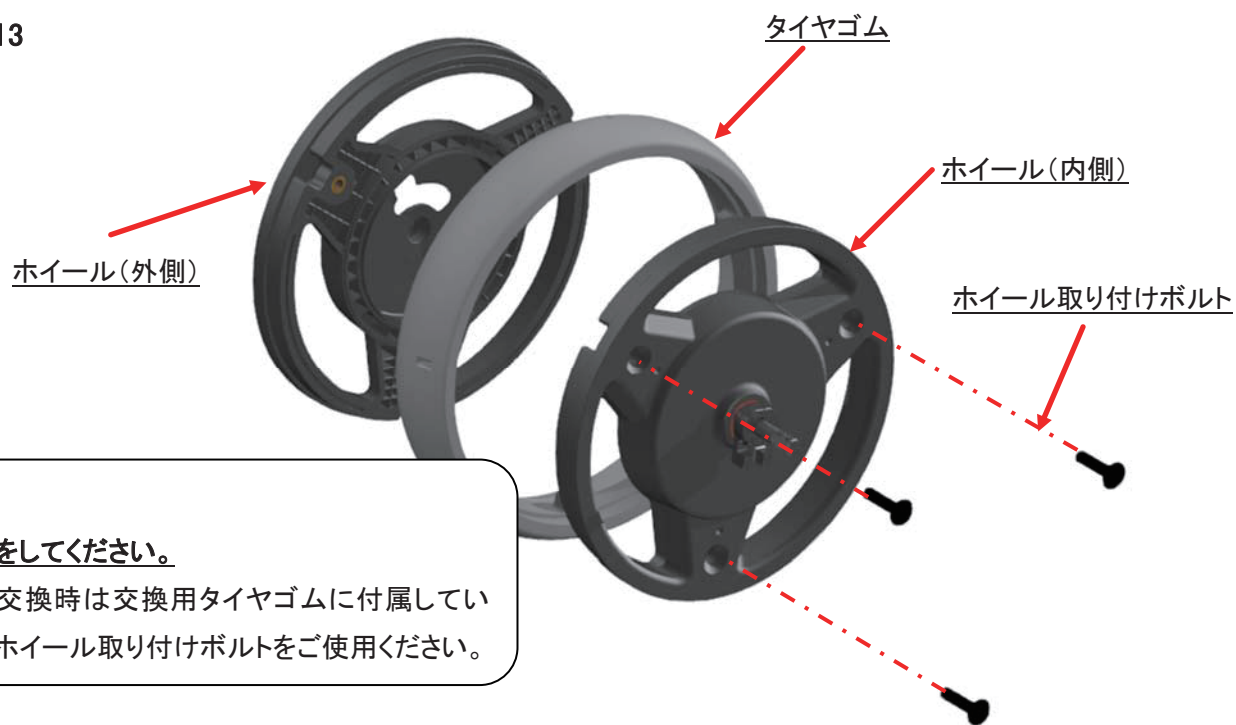
図 12



タイヤゴム交換方法②

- ① CONPAL ユニートを歩行車に装着した状態で、ホイール取り付けボルト 3 本を緩めて、ホイール(外側)とタイヤゴムを外します。(図 13)
- ② 新品タイヤゴムの突起を、ホイールの溝に合わせて取り付けます。(図 14)
- ③ ホイール(外側)をホイール(内側)に合わせて取り付けます。
- ④ 交換用タイヤゴムに付属している、新品のホイール取り付けボルト 3 本を規定トルク(2.6±10%Nm)で締めます。
- ⑤ 左右の CONPAL ユニートともに、抑速ブレーキが作動することを確認します。

図 13



⚠ 注意

以下のことをしてください。

タイヤゴム交換時は交換用タイヤゴムに付属している、新品のホイール取り付けボルトをご使用ください。

図 14



! 注意

以下のことをしてください。

タイヤ交換後、正しくついているか確認してください。

横から見た図



タイヤゴムとホイール間に
すきまがある。

上から見た図



タイヤゴム側面とホイール側
面に段差がある。

本体フレーム発売元および製造元

株式会社星光医療器製作所

〒578-0901 東大阪市加納 5 丁目 11-6

TEL 072(870)1912 FAX 072(870)1915

URL <https://www.seiko-aruko.jp> E-mail : office@aruko.co.jp

CONPAL2 発売元および製造元

ナブテスコ株式会社

住環境カンパニー 福祉事業推進部

※ 記載内容や仕様などは、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。